

袋井市内における熱中症の発生状況（熱中症疑い救急搬送者数データより）

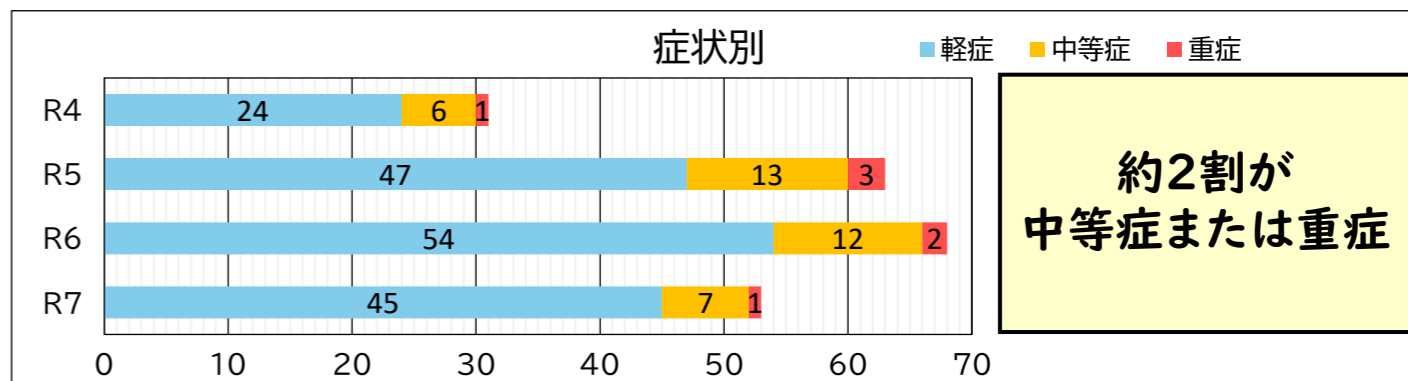
1 令和7年の熱中症発生状況

令和7年の本市における熱中症疑い救急搬送者数（以下、「搬送者数」という。）は53人で、昨年の68人から15人減少し、症状別の内訳は、軽症45人、中等症7人、重症1人であった。

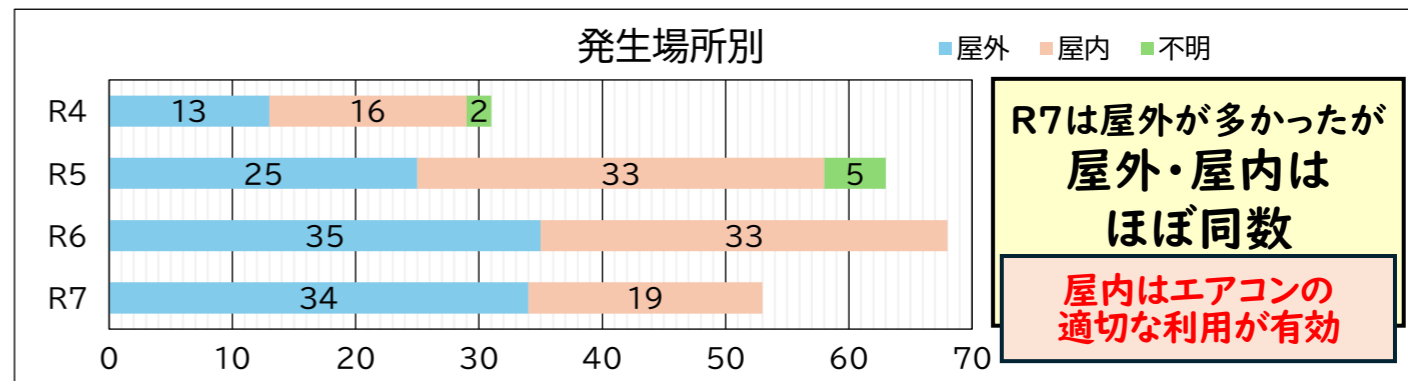
発生場所別・年代別に搬送者数をみると、屋外での搬送者が34人（少年4人、成年13人、高齢者17人）、屋内での搬送者が19人（少年1人、成年10人、高齢者8人）であり、**屋外が多かった**。年代別では**高齢者が25人で全体の約半数**を占めた。性別では男性が36人、女性が17人であり、**男性の搬送者数は女性の約2倍**であった。

月別では、**気温が上昇した7月の搬送者数が最も多く22人**であった。また、本市（観測地：磐田）における、5月及び6月の2カ月間の真夏日（最高気温が30℃以上の日）は7日間だけだったが、2カ月合計の搬送者数は14人であり、真夏日が17日間あった9月の1カ月間5人よりも多かった。これらは、**気温が上昇し始めた時期に体が慣れておらず（＝暑熱順化できておらず）、熱中症につながった**と推測される。

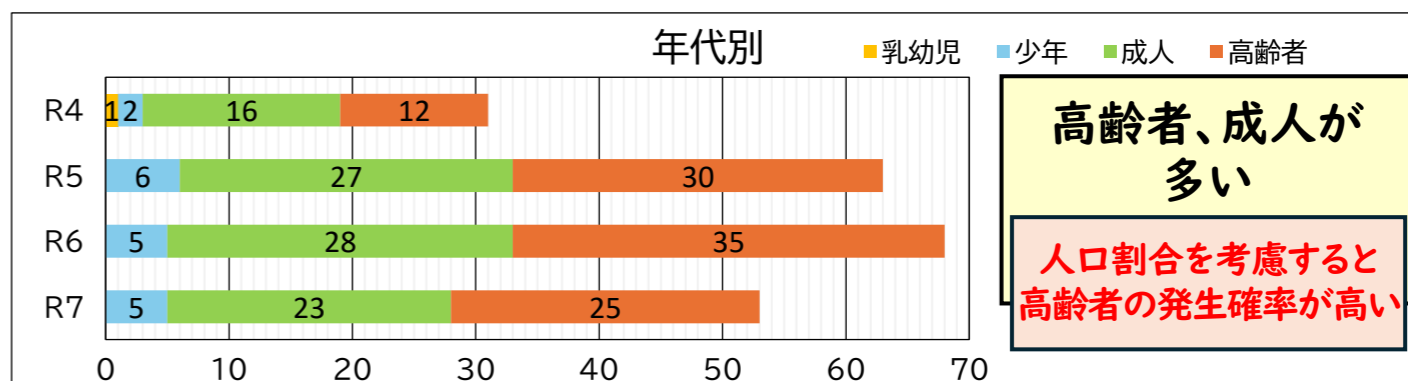
| | 屋外 34人 | | 屋内 19人 | | 屋外・屋内合計 | | 合計53人 |
|-----|--------|----|--------|----|---------|-----|-------|
| | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男性 | 女性 | 男女合計 |
| 少年 | 3人 | 1人 | 0人 | 1人 | 3人 | 2人 | 5人 |
| 成年 | 12人 | 1人 | 5人 | 5人 | 17人 | 6人 | 23人 |
| 高齢者 | 11人 | 6人 | 5人 | 3人 | 16人 | 9人 | 25人 |
| 合計 | 26人 | 8人 | 10人 | 9人 | 36人 | 17人 | 53人 |



約2割が中等症または重症

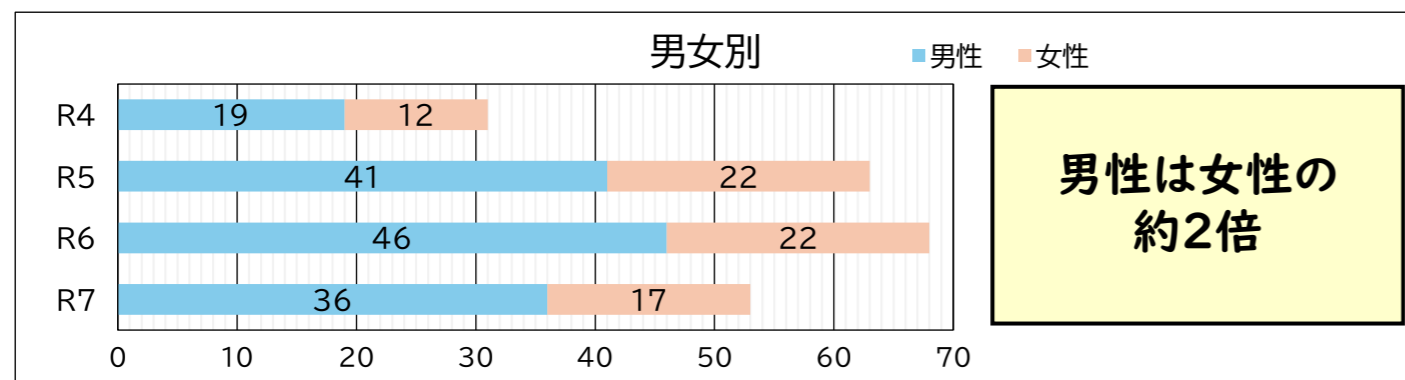


R7は屋外が多かったが屋外・屋内はほぼ同数
屋内はエアコンの適切な利用が有効

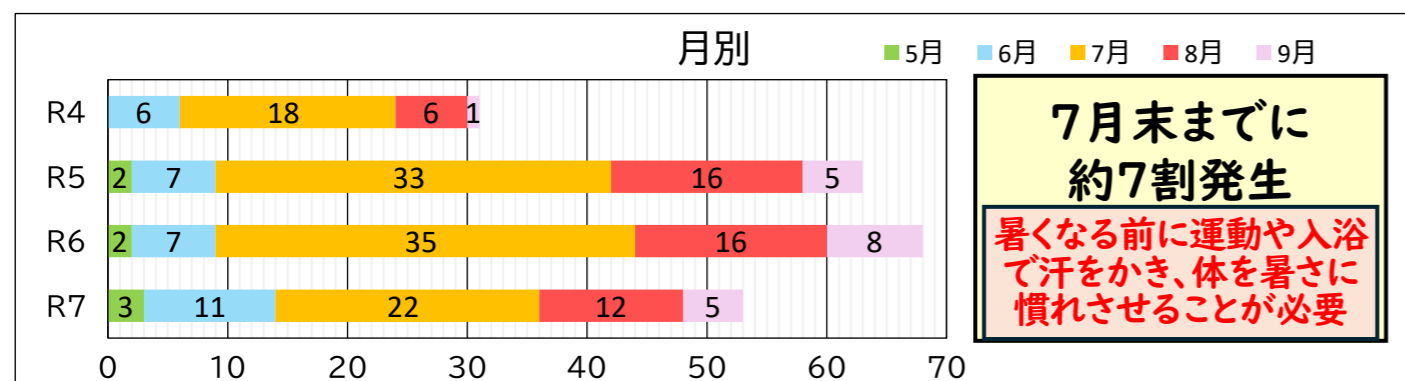


高齢者、成人が多い
人口割合を考慮すると高齢者の発生確率が高い

2 本市搬送者カテゴリー別・過去4年間の推移（グラフ）



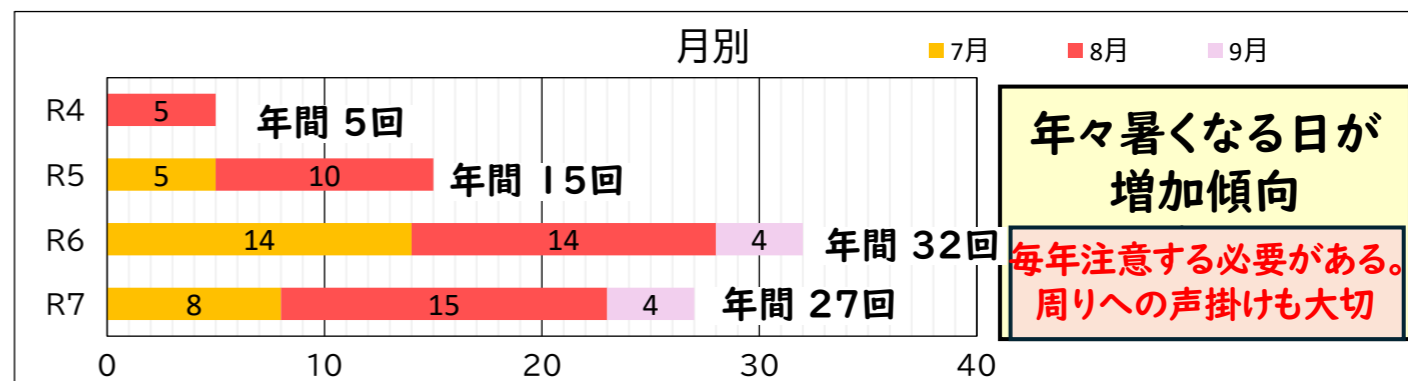
男性は女性の約2倍



7月末までに約7割発生
暑くなる前に運動や入浴で汗をかき、体を暑さに慣れさせることが必要

3 熱中症予防の注意喚起状況（同報無線・メローねっと）

静岡県に対し熱中症警戒アラートが発表されるとともに、磐田市の観測点で午前9時の気温が30℃以上（土日は予測値）を満たした全ての日に対して、同報無線及びメローねっとでの注意喚起を実施



年々暑くなる日が増加傾向
毎年注意する必要がある。周りへの声掛けも大切

（参考）静岡県における熱中症警戒アラート発表回数 R4:7回 R5:29回 R6:44回 R7:40回